



食の安全・安心

規範1

規範2

シマダヤグループでは、食品メーカーとしてお客様に安全・安心な商品をお届けする責任を果たすために、グループ全体で安全・安心への取り組みを推進しています。



シマダヤグループの品質に対する考え方

シマダヤグループでは、「シマダヤ品質基本方針」に基づき、日々の活動に取り組んでいます。当方針では品質を商品品質としてだけでなく、組織や活動の質も含めて品質と定義しています。また、シマダヤグループ工場では、工場の管理レベルを向上させ、商品の安全・安心への信頼性を高めるため、HACCPを含む国際的な食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000に取り組み、2024年8月現在、全11工場で認証を取得しています。



安全・安心に配慮した商品製造

シマダヤグループ工場では、安全・安心な商品をお届けするために、各製造過程における異物除去装置の導入・運用や製造現場の清掃・メンテナンス、微生物検査・官能検査等を実施しています。また、ハード面だけでなく、従業員教育を通じた衛生意識の向上等、ソフト面の取り組みも重要と捉えて取り組んでいます。



お客様の声への対応

シマダヤグループでは、お電話、お手紙、メール等で寄せられるお客様からの様々なお問い合わせに対し、迅速かつ正確にお応えしています。

● 焼麺類のほぐれ性向上

お客様が焼そばを調理する際にご不満を感じる“めんがほぐれにくい”ことに対し、ほぐし油の改良を行うことで麺の食感やおいしさはそのままに、調理のしやすさを実現しました。



よりほぐれやすい

● パッケージ表示の周知（家庭用商品）

お客様からお問い合わせいただく商品情報の中で、特に重要な食物アレルギー等のパッケージ表示に関してホームページ上でも掲載することで、広くお客様にも周知を図っています。



お客様のニーズに応える商品開発

シマダヤグループでは、変化する社会・環境やお客様の多様なニーズに応えるため、“健康”“簡便”“高品質”“買いおき”“経済性”“国産”“環境”の頭文字をとった「7K」をキーワードに商品開発及び営業活動に取り組んでいます。

特に社会課題解決に向けた取り組みとして、輸入におけるCO₂削減や商品品質の価値向上に向けた商品の主原料国産化、健康寿命延伸へ向けた食塩ゼロや糖質カットなどの「健美麺」、時短や省エネ・省資源へ向けた火を使わず水でほぐすだけの「流水麺」などの商品やブランドをラインアップしています。また、家庭での食品ロス削減への取り組みとして、2024年度には「もみ打ち」や「時計台」ブランドなどの賞味期間の延長などを実現しています。



お客様の声を聴く会を実施

お客様の要望、潜在的なニーズを捉え、今後の商品開発・改良や商品の製造管理に活かすために、開発・企画部門やシマダヤグループ工場においてお客様のリアルな声を直接聴く機会として、定期的に「お客様の声を聴く会」を実施しています。



「お客様の声を聴く会」の様子

VOICE

お客様相談室では、従業員に対しより多くのお客様の生の声を届けるべく、お客様の声を聴く会を実施しています。日々、お客様からいただいているご意見で、関連部門に伝えたい生の声がたくさんあります。有意義な時間となるよう、参加していただく皆さんには、なにより新鮮な感覚を覚えていただきたいと願いながら、開催しています。お伝えする声は、お申し出、お褒めの言葉、販売店や調理方法についてのお問い合わせと数多くありますが、少しでも印象に残るような題材を厳選し、工夫してお伝えしています。今後も、お客様と各部門との橋渡し役として、活動を続けてまいります。

お客様相談室 川田良一

TOPICS

働きやすい環境づくり

シマダヤグループでは、従業員が安全で、働きやすい職場環境を確保するため、行動計画を策定し、取り組みを実施しています。

規範5



ワークライフバランスの推進

シマダヤでは、従業員の多様な働き方を推進するため、男女ともに仕事と育児を両立できるよう、職場環境整備や動画を活用した制度の周知などを実施しています。

1. 仕事と家庭の両立支援に向けて

シマダヤでは、始業・終業時刻を変更できる時差出勤制度の拡大や短時間勤務制度の対象となる子の年齢引き上げ等、従業員の多様な働き方への支援をしています。また、次世代育成支援対策推進法に基づき、柔軟な働き方を推進して従業員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、以下の目標を策定し、取り組みを実施しています。

目標

計画期間内に、育児休業の取得状況を次の水準にする
男性社員：取得率30%以上、女性社員：取得率100%の維持

2023年度実績

育児休業の取得状況
男性社員：取得率80%、女性社員：取得率100%

2. 女性の活躍推進に向けて

シマダヤでは、女性活躍推進法に基づき、女性が継続して就業し活躍できる雇用環境の整備を行うために、以下の目標を策定し、取り組みを実施しています。

目標

- 1.全社員に占める女性の割合を27%以上とする
- 2.男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合を70%以上とする

2023年度実績

- 1.全社員に占める女性の割合：全体25.4% (正社員24.9%、パート社員85.7%)
- 2.男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合：全体73.8%

3. 省力化・省人化への取り組み

シマダヤグループ工場では、商品の箱詰め、ダンボールの積み上げなどの定型的な業務や重量物を扱う作業は自動化設備を取り入れ、作業負担の低減や業務精度の向上に取り組んでいます。

それによって、従業員の負担軽減を図るとともに、メンテナンス時間や業務の見直しの時間を確保し、より安全・安心でおいしい商品をお届けできるように努めています。



ダンボール積み上げ自動化の様子

コンプライアンス

シマダヤグループでは、リスクマネジメントの推進や行動規範の周知等の取り組みにより、コンプライアンスの強化・徹底を図っています。

規範3



リスクマネジメントの推進

シマダヤグループでは、企業として存続・発展するために、その障害となるリスクを正確に把握し、危機発生時の損失を極小化するリスクマネジメントに取り組んでいます。シマダヤグループ全体で、コンプライアンスを含めて想定されるリスクを洗い出し、リスクの発生要因を排除・削減するために実行計画を策定し、取り組みを推進しています。

シマダヤグループ行動規範の周知

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ行動規範」の啓発活動の一環として、ハンドブックを作成し規範内容の理解促進を図っています。ハンドブックには、「おいしい笑顔をお届けします」の実現に向け、関連する法令・規程や、従業員一人ひとりが日々の行動で意識することを記載し、従業員の意識向上に努めています。

パートナーシップ構築宣言の公表

シマダヤでは、2024年2月より、自社の取引方針及び重点取り組みを宣言する取り組みとして、「パートナーシップ構築宣言」を公表しています。サプライチェーン全体の共存共栄と新たな企業間連携や、下請法の定める振興基準の遵守等に重点的に取り組むことを宣言しています。

社会貢献

シマダヤグループでは、地域行事への参画を始めとした社会貢献活動を実施しています。

規範6



地域行事への参加

各事業所では、地域貢献及び企業PRの一環として、地域行事への参加を積極的に行っています。地域のお祭りへ協賛・出店し、主に焼そばを調理して提供しました。近隣住民の方との貴重なコミュニケーションの機会となっています。



地域祭りの様子

地域清掃活動の実施

各事業所では、地域貢献の1つとして、定期的な事業所周辺の清掃活動を持続的に実施しています。清掃活動への参加を通して環境意識の向上にもつながっています。



清掃活動の様子



環境負荷低減の活動

シマダヤグループでは、省エネ・省資源や食品ロスの削減など、環境負荷の低減に取り組んでいます。

規範4



シマダヤグループ環境基本方針、環境推進体制

シマダヤグループ環境マネジメントシステム

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと、中期環境目的・目標を掲げ、その達成に向けて各部門で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

● シマダヤグループ環境基本方針

環境理念

小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。

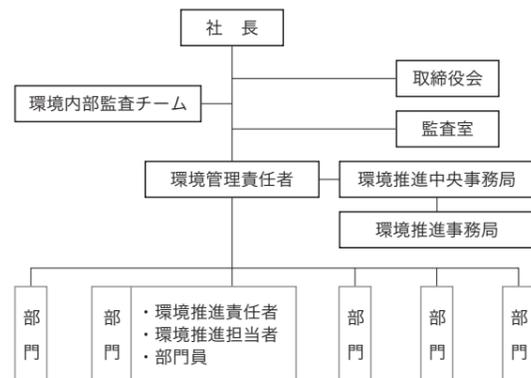
シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、

めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

環境行動指針

- 環境関連法規の遵守** 社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。
- 資源、エネルギーの有効利用** 資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組むとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。
- 継続的な環境改善** 事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。
- 環境保全意識の醸成** 情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。
- 情報の公開** 環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。

● 環境推進体制



● 活動の推進役と役割

全社の推進役	社長	全社の活動の最高責任者
	環境管理責任者	全社の活動の責任者
	環境推進中央事務局	環境管理責任者の補佐
部門の推進役	環境推進事務局	環境推進責任者、環境推進担当者の補佐
	環境推進責任者	部門活動の責任者(活動の単位の部門長、または工場長)
	環境推進担当者	部門活動のリーダー

※ 部門単位で活動を推進しており、環境マネジメントシステム上においては、グループ会社は工場単位で1つの部門として活動しています。

シマダヤグループ中期環境目的・目標 (2022年度~2023年度)

グループ全体方針

シマダヤグループは有益な社会・環境影響をもたらす活動を実践し
持続可能な社会の実現に貢献します

1. 生産物流本部	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー由来CO₂排出量の削減 ● 廃棄麺（スープ・具材・原料を含む）の削減 ● 有益な環境影響（省エネ・省資源等）をもたらす活動の実行
2. 営業本部、開発研究所	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康・簡便・国産原料使用商品の開発・拡売 ● 環境に配慮した商品の開発・拡売
3. 管理部門	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務の生産性の向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等をもたらす活動の実行

中期環境目的・目標 2023年度取り組み報告

環境目的	2023年度実績
1 エネルギー由来CO ₂ 排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 2023年度は目標比 97.4%となりました。 ● 各工場では、生産設備の更新や太陽光発電システム、省エネ機器の導入等により電気・ガス使用量を削減し達成となりました。
2 廃棄麺（スープ・具材・原料を含む）の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場では、計画的な設備メンテナンスや従業員教育によりトラブル廃棄の削減に努めましたが、人的ミスや設備由来のトラブル等が発生し2023年度は目標比 114.2%と未達成となりました。 ● ロジスティクスセンターでは、関連部門との連携を密にとり、廃棄麺の発生を抑制し原単位実績で削減し2023年度は目標比88.8%となりました。
3 有益な環境影響（省エネ・省資源等）をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 配送コース・配送便、輸送回数の見直しによる物流の効率化に努め、CO₂排出量が基準年度比で97.9%となりました。 ● システム活用や文書電子化に取り組み、業務の生産性向上に貢献しました。
4 健康・簡便・国産原料使用商品の開発・拡売	<ul style="list-style-type: none"> ● 天候要因により「流水麺」が好調に推移したことや、経済性商品の「太鼓判」が大幅に伸長したことが大きく影響し、目標達成となりました。 ● 「真打」ちゃんぼんめん等の国産小麦化や中華焼ビーフンの国産米化等に取り組みました。
5 環境に配慮した商品の開発・拡売	<ul style="list-style-type: none"> ● 「鉄板麺」「もみ打ち」「麺がうまい!!」「時計台」ブランド等の賞味期間の延長や、焼麺類のほぐれ性向上等に取り組みました。また、商品に関するお客様の要望を抽出し、商品開発に反映しました。 ● 商品の包装フィルムを薄肉化し、CO₂排出量を前年比で28.6%削減しました。
6 業務の生産性の向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 株式上場を見据えた内部統制の強化や法改正への対応、文書電子化を始めとした業務の効率化等に取り組みました。

2023年度社会・環境活動表彰

2012年度より、従業員一人ひとりの社会・環境活動に対するモチベーションの向上を目的として「社会・環境活動表彰」を実施しています。2023年度の活動においては、グループ全体で30件のエントリーの中から、3件が表彰されました。シマダヤグループでは、引き続き、身近な取り組みを始めとするグループ全体に広がりのある社会・環境活動の活性化を図ってまいります。



表彰状授与の様子

● 2023年度「社会・環境活動表彰」

受賞部門	活動内容
1 開発研究所	包装形態変更に伴うプラスチック使用量削減及び印字方式変更によるCO ₂ 排出量削減
2 シマダヤ関東(株)群馬工場 製造部 製造2課	茹槽蒸気使用量のPID制御によるガス使用量削減
3 シマダヤ東北(株)郡山工場 製造課 茹グループ	廃熱回収装置活用によるガス使用量削減

第27回業務用加工食品ヒット賞を受賞

2023年8月、北関東産小麦を使用した「真打」つけ汁専用武蔵野うどん<ミニダブル>が日本食糧新聞社主催の第27回業務用加工食品ヒット賞を受賞しました。同賞は、外食産業の活性化等へ貢献した業務用加工食品・素材の栄誉を称える賞で、全国業務用食品卸のモニター情報を基に選考委員会の審議を経て決定されます。今回「真打」つけ汁専用武蔵野うどんは、「つけて食べる」という新しい食べ方に特化していること、郷土食メニューとして提案しやすいこと等をご評価いただきました。



受賞した「真打」つけ汁専用武蔵野うどん<ミニダブル>

「第7回JSH減塩食品アワード」金賞を受賞

2023年9月、「健美麺」国産そば粉使用 食塩ゼロ本そば 1食・3食が日本高血圧学会「JSH減塩食品アワード」金賞を受賞しました。

「JSH減塩食品アワード」とは、日本高血圧学会 減塩・栄養委員会が紹介する「食塩含有量の少ない食品」(JSH減塩食品リスト)の内から、減塩化の推進に優れた成果を挙げた製品が審査・認定されるアワードです。当社は2015年にも「流水麺」国産小麦粉使用うどん2人前、「健美麺」食塩ゼロ 本うどん 1食・3食、東京「恵比寿」ラーメン(現在は終売)が金賞を受賞しています。



省エネ・省資源への取り組み

シマダヤグループでは、日々の業務において省エネ・省資源に取り組んでいます。特にエネルギー使用量の多いシマダヤグループ工場では、省エネ機器導入による電気使用量の削減や設備更新によるガス使用量の削減のほか、従業員教育や生産効率の向上に取り組んでいます。また、シマダヤでは、商品包材の見直しによるプラスチック使用量の削減や物流効率化によるCO₂排出量の削減、システム活用によるペーパーレス化を進めています。

VOICE

茹槽蒸気使用量のPID制御によるガス使用量削減

省エネ・省資源への取り組みや昨今のガス料金高騰を受けて、茹麺工場でもガスを使用している茹槽の蒸気量削減に着手しました。「過去データ等の分析から現行の使用量が本当に適正なのか?」「ラインによって使用量が大きく違うのは何故か?」という疑問から温度調節器について学び、PID制御による適正化を図りました。半導体不足等で部品の交換が進まず、正常な状態での検証ができず苦戦しましたが、予想以上の削減効果につなげることができました。今後も、さらなる削減に向けて横展開を図っていきます。

シマダヤ関東(株)群馬工場 齋藤一徳、栗原仁



TOPICS

太陽光発電システムの導入拡大

シマダヤグループでは、世界的な気候変動問題を踏まえ、環境負荷低減を図る活動の一環として、2022年度にシマダヤ関東(株)群馬工場、前橋工場の2工場、2023年度に東京工場、埼玉工場の2工場、計4工場に太陽光発電システムを導入しました。再生可能エネルギーの活用により、電気使用量及びCO₂排出量の削減に寄与しています。2024年度も省エネ・省資源につながる設備の導入計画を進める等、環境負荷低減に向けた活動を推進しています。



東京工場



埼玉工場



群馬工場



前橋工場

ISO14001：2015の認証継続が承認されました

シマダヤグループでは、2003年より環境取り組みを開始し、2004年にシマダヤ(株)と東京シマダヤ(株)（現 シマダヤ関東(株)東京工場）でISO14001の審査登録を受け、認証登録されました。その後、順次適用事業所を拡大し、2024年8月現在でシマダヤ(株)及びグループ会社3社11工場が登録範囲となっています。



ホームページをリニューアルし、サステナビリティページを新設しました

シマダヤグループでは、グループの存在意義や社会における役割とその取り組みをより皆様にお伝えしていくため、2024年6月下旬にホームページのリニューアルを行いました。サステナビリティページを新設し、当社グループの環境に対する方針、考え方などをより認知いただくために、事業活動を通じた環境保全活動や働きやすい職場づくりに向けた取り組み事例の充実化を図りました。



新たなシマダヤグループ中期環境目的・目標（2024年度～2026年度）に取り組んでいます

グループ全体方針

シマダヤグループは、有益な社会・環境をもたらす活動を実施し、持続可能な社会の実現に貢献します。

1	エネルギー由来CO ₂ 排出量の削減
2	廃棄物（スープ・具材・原料を含む）の削減
3	持続可能な商品の安定供給（物流に関わるCO ₂ 発生の抑制、物流の効率化）
4	環境に配慮した商品（健康・簡便・国産原料使用）の拡売・サービスの提供
5	環境に配慮した商品・設備の開発・導入
6	持続可能な原材料の安定調達
7	持続的成長に向けた「ブランド価値向上」・「生産性向上」をもたらす活動